

仕様書

1 業務名

魅力発信ショート動画の制作及び情報発信支援業務委託

2 履行期間

契約締結日から令和 7 年 3 月 21 日（金）まで

3 履行場所

指定場所

4 目的

市内在住の 10～20 代の約半数が本市の情報には興味がないと考えており、本市の魅力が市内在住の人にも伝わっていないのが現状である。そこで、市内在住者を含む全国の主に 18～25 歳の若い世代に対し、ショート動画を用いて本市の魅力を端的に伝え、本市に興味関心のある人を増やし、SNS をフォローしてもらうことで、本市と若い世代との接点をつくるもの。

5 業務内容

(1) ショート動画の制作

ショート動画に定評のあるインフルエンサーを起用し、若い世代が求める情報として本市の魅力を伝えるショート動画を 12 本以上制作すること。

ア 企画・構成業務

（ア）動画は、その特性である動きや音を効果的に活用し、発注者が各動画で伝えたいメッセージが視聴者に届く内容とすること。

（イ）動画は、本市の魅力（例：食、自然、文化、スポーツ、旅、暮らしなど）を端的に伝えるものとし、視聴者の興味、関心、共感等が生まれるような内容とすること。

（ウ）動画の企画・構成・内容・撮影場所等は、発注者と協議の上、決定すること。

イ 取材・撮影業務

（ア）企画・構成業務により決定した内容に基づき、取材・撮影を行うこと。なお、撮影時の画面比は 9 対 16 の縦型で、画質はフル HD 規格以上とする。

（イ）取材・撮影を行う際は、事前に発注者に通知すること。なお、取材・撮影には、原則として発注者から 1 名以上同行する。

ウ 編集業務

（ア）テロップや BGM 等の演出については、取材・撮影後に発注者に確認の上、決定すること。テロップは、無音で視聴しても動画の内容が十分に伝わるよう工夫すること。

(イ) 取材・撮影後、速やかに編集を実施し、仮編集の段階で適宜発注者に確認を行うこと。

エ 情報拡散業務

制作した動画は、本市の新たな公式 SNS アカウント（YouTube、Instagram 及び TikTok）で発信する。特に、Instagram については 12 回以上の共同投稿等を用いて効果的な発信となるようにすること。

オ 動画納入

制作したショート動画（MP4 形式）は履行期間中に各月 2 回程度、発注者が投稿できるようなスケジュールで納品すること。なお、毎月一定のスケジュールで動画の制作を求めるものではない。

また、制作したすべての動画（MP4 形式）データを履行期間終了日までに納品すること。

(2) 情報発信支援業務

(1)で制作したショート動画や発注者が独自に制作するショート動画等を発信するアカウントのブランディングを行うこと。なお、インフルエンサーの関わりは任意とする。

ア ブランディングの方針策定

契約後直ちに発注者と協議の上、令和 6 年 10 月末までに本市の新たな公式 SNS アカウントの方向性を定めること。方向性とは、投稿する内容や投稿文のスタイル、投稿頻度などを想定している。

イ デザイン等の制作業務

(ア) (1)エで示した 3 つの SNS アカウントの統一感を保つため、アカウントに用いるアイコン画像の制作、発注者が独自に制作するショート動画のサムネイルのフォーマット及びイラスト又はロゴのデザイン等を制作し、アカウントのブランディングを行うこと。

(イ) (ア) の制作にあたっては、発注者とデザイン等の方向性を事前協議の上、制作すること。また、仮編集の段階で適宜発注者に確認を行うこと。

ウ デザイン等の納入

制作したデザイン等は、11 月末までに納品すること。

1	アカウントのアイコン画像 (3 つの SNS アカウントに共通して活用できるもの)	1 種類
2	サムネイルのフォーマット (幅広いショート動画に汎用できるもの)	1 種類以上 (動画のジャンルに合わせ複数種類の制作も可とする)
3	動画に表示するイラスト又はロゴ (幅広いショート動画に汎用できるもの)	1 種類以上

エ その他

デザイン等の制作以外に、本市の新たな公式SNSアカウントを若い世代に広く浸透させるために必要なブランディングを積極的に行うこと。実施に際しては、発注者と事前協議を行うこと。

6 留意事項

(1) 成果品の帰属に対する責任の範囲

ア 成果品の所有権及び著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は発注者に帰属し、発注者の承諾なしに使用又は公表してはならない。また、本業務において作成した動画、テロップ、イラスト、ロゴ等は、委託期間終了後も本市が利用できるよう、出演者の肖像権及び音楽・デザインの著作権等に関する調整を行うこと。

イ 受注者は著作者人格権を行使しない。

(2) 業務の再委託

業務の主要な部分を第三者に委託することは不可とする。なお、再委託する場合は、あらかじめ下記の事項について記載した「第三者委託承諾願」を発注者に提出し、承諾を得なければならない。

ア 再委託を行う相手方の商号または名称及び住所

イ 再委託を行う業務の範囲

ウ 再委託を行わなければならない理由

(3) 秘密の保持等

受注者は、本業務の実施において知り得た事項を第三者に漏らしてはならない。

(4) 特記事項

ア 法令等の遵守

受注者は業務の履行に当たり、関連する法令等を遵守しなければならない。

イ 費用の負担

業務を行うに当たり必要な資料収集費、取材費、出演料及び交通費等の一切の経費は受注者が負担すること。また、業務に伴う必要な経費は、本仕様書に明記のないものであっても原則として受注者の負担とする。

ウ 資料の提供

発注者が撮影し、保有している写真等については提供可能であるため、事前に発注者に問い合わせること

エ 打合せ

業務着手時及び業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合せを行うものとし、受注者は、その結果を記録し、相互に確認するものとする。業務の履行に当たって、受注者は監督職員と密接な連絡を取り、その連絡事項をその都度記録し、打ち合わせの際、相互に確認するものとする。

オ 許可・届出

取材・撮影等の業務を行うために必要な許可や届出は、受注者の責任において行うこと。

カ 起用するインフルエンサーの変更

やむを得ない事情により、起用するインフルエンサーを履行期間中に変更する場合は、協議の上、発注者の承諾を得ること。その場合、変更後のインフルエンサーの Instagram フォロワー数は、変更前と同等かそれ以上の者であること。

キ 疑義

仕様書記載事項に疑義が生じた場合又は定めのない事項については、受注者は発注者と十分な協議を行い、業務の遂行に支障のないように努めなければならない。